

⚠ 注意 この頁は安全確保のために必ずお読みください

MDX-E3 (J)

[アンプ部]
実用最大出力 4W+4W (EIAJ 4Ω)

[チューナー部]
FMチューナー部
受信周波数範囲 76MHz~108MHz

AMチューナー部
受信周波数範囲 531kHz~1,629kHz

[MDレコーダー部]
読み取り方式 非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
記録方式 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ATRAC
D/Aコンバーター 1 Bit
ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下

[CDプレーヤー部]
読み取り方式 非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)

D/Aコンバーター 1 Bit
サンプリング周波数 8 fs (44.1 kHz)
周波数特性 (EIAJ) 20 Hz~20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下

[カセットデッキ部]
トラック方式 4トラック2チャンネルステレオ
録音方式 交流バイアス (周波数:105kHz)
ヘッド
録音/再生ヘッド 1
消去用 1
モーター DCモーター ×1
早巻き時間 約100秒 (C-60)

[スピーカー部]
エンクロージャー バスレフ型
スピーカーユニット 90mm コーン型
インピーダンス 4Ω

[電源部・その他]
電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 38W
最大外形寸法 幅 480mm
高さ 195mm
奥行 245mm
質量 (重量) 5.7kg (正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
● 極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

● 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)

● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

MDX-E3

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の『安全編』をお読みになり、十分にご理解ください。
使い方の説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返し読んでお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

付属品

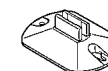
電源コード (1個)



AM ループアンテナ (1個)



AMループアンテナ
スタンド (1個)



リモートコントロール
ユニット (1個)



リモコン用単3乾電池
(R6/SUM-3) (2本)



日本語表示シール (1枚)



B60-4062-00 03 (J) (J) 9808

目次

安全編

安全にお使いいただくために

△ 安全上のご注意 3

準備編

音を出す前に

△ 接続のしかた 7

各部のなまえ 8

本体部 8

表示部 9

リモコンの使いかた 10

現在時刻を合わせる 11

操作編

操作のしかたがわかります

音を出してみよう 12

基本的な使いかた 12

ヘッドホンで聴く 12

低音と高音の調整 13

バランスの調整 13

CD/MDを聴く(基本編) 14

一時停止する 15

曲を飛び越す 15

早送り・早戻しする 15

再生を止める 15

好きな曲から聴く 15

ディスクを取り出す 15

CD/MDを聴く(応用編) 16

DOT DISP/CHARA. キーについて 16

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) 17

繰り返し聴く(リピート再生) 18

ランダム再生を楽しむ(CDのみ) 18

聴きたい曲をタイトルで探す(タイトルサーチ) 19

テープを聴く 20

早送り・早戻しする 21

TAPE E.Q.を選ぶ 21

再生を止める 21

リバースモードを選ぶ 21

ラジオを聴く 22

放送局をオートプリセット(記憶)する(FM/AM) 22

エリア別FM放送局名自動表示リスト 23

放送局を選ぶ 24

放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット) 25

録音をする(基本編) 26

MDに録音する 26

テープに録音する 28

便利な録音あれこれ(応用編) 30

ワンタッチ録音(CD→MD/CD→TAPE) 30

MDとテープに同時録音(TWIN REC) 31

プログラム録音(CD→MD/CD→TAPE) 32

プログラム録音(MD→TAPE) 33

CDの1曲目だけを録音する(ベストヒット録音)(CD→MD) 34

MDの編集機能 35

ミニディスクや曲にタイトルをつける 35

タイトルを変更、消去する 37

曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE) 38

曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE) 39

曲を分ける(TRACK DIVIDE) 40

曲をつなぐ(TRACK COMBINE) 40

1曲消す(TRACK ERASE) または全曲消す(ALL ERASE) 41

曲の一部分を消す 42

AUXインプトレベルの調整 43

タイマーを使う 44

O.T.T.(簡単タイマー)を設定する 44

プログラムタイマーを設定する 45

タイマーの実行と解除 47

おやすみタイマー(SLEEP) 47

知識編

知っていると何かと便利です

知っておきましょう 48

メンテナンス 48

参考 48

ディスクの取り扱いかた 49

カセットテープについてのご注意 50

デジタル録音とSCMSについて 50

故障かな?と思ったら 51

保証とアフターサービス (必ずお読みください) 55

△ 定格 56

安全上のご注意

△ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

△ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能(表示のみ)があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。



デモ オフ
DEMO OFF (デモンストレーション解除)....."DEMO ON"中に"SET/DEMO"キーを押す
デモ オン
DEMO ON (実行).....電源がオンの時に"SET/DEMO"キーを押す(2秒以上)

● 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に"DEMO ON"になります。

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

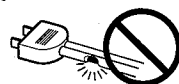
電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

●修理をご依頼ください。



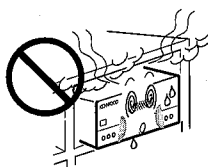
使用禁止



放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

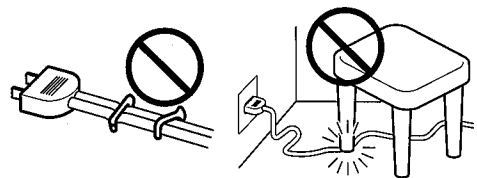
- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
 - 横倒し、おおむけ、逆さまに置かない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
 - 敷物の下に電源コードを隠さない。
 - 電源コードをステープルや釘などで固定しない。
 - 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



風呂、シャワー室での使用禁止



異常かな?と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。

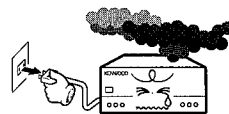
《火災や感電の危険があります》

●直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

●安全を確かめてから、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く

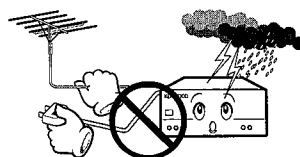


雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》

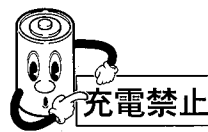


接触禁止



乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

●電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

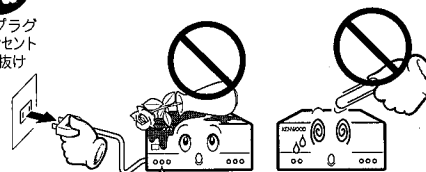
●点検、修理をご依頼ください。



水ぬれ禁止



電源プラグをコンセントから抜く



落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

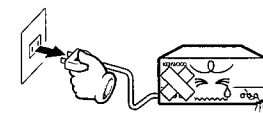
《火災や感電の危険があります》

●電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

●点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く



ケースを絶対に開けないでください

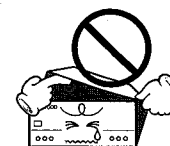
機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

●点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



分解禁止

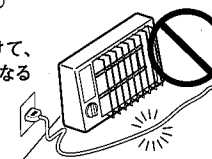


注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

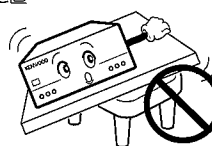
●指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を開けきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



水ぬれ禁止



長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜く

音量に気をつけて



電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》



指をはさまれないよう注意



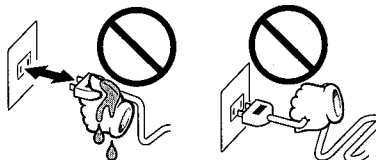
電源プラグの抜き差しは



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》

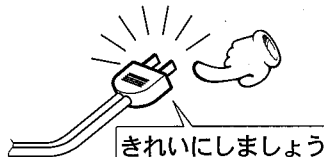
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
《コードの部分引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



電源プラグは清潔に



1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



お手入れの際は



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。

《内部にほこりがたまると、火災や故障の原因になることがあります》



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-")の向き)に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



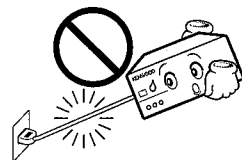
機器を移動させる際は



電源プラグをコンセントから抜く

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

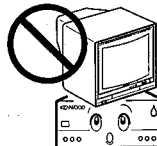
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。

《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



注意 接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな?と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。→51

FMロッドアンテナ

引き伸ばして、受信状態の一番よい方向に向けます。

外部の機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

AUX IN は入力端子です。外部機器への録音はできません。

オーディオコード(市販)

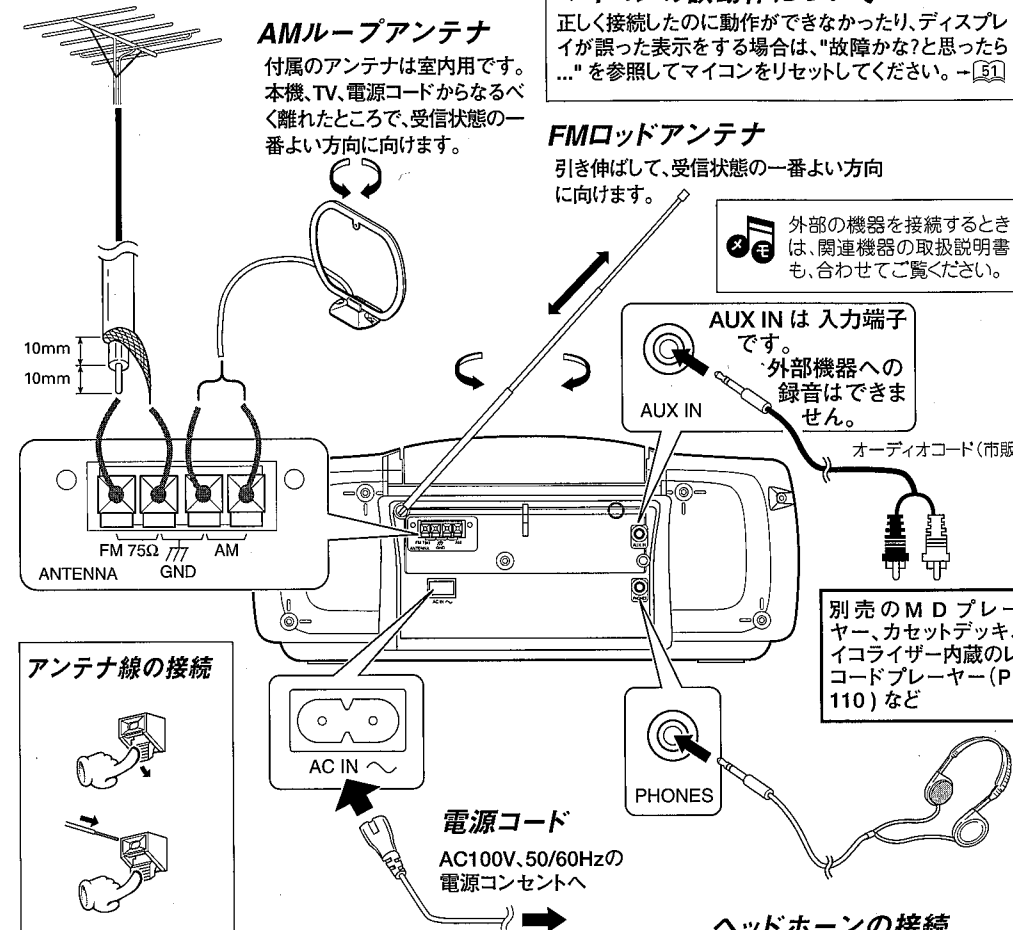
別売のMDプレーヤー、カセットデッキ、イコライザー内蔵のレコードプレーヤー(P-110)など

FM屋外アンテナ(市販品)

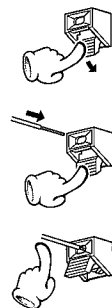
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



アンテナ線の接続



電源コード

AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ

ヘッドホンの接続

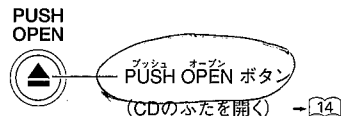
スピーカーで聴くときは、ヘッドホンをジャックから外してください。

ご注意

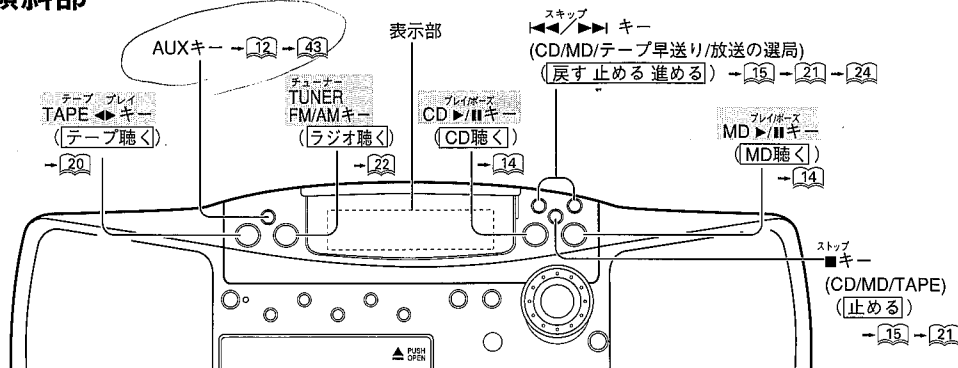
1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
3. 屋外アンテナの設置は危険を伴いますので、販売店、または専門の技術者にご依頼ください。
4. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。

本体部

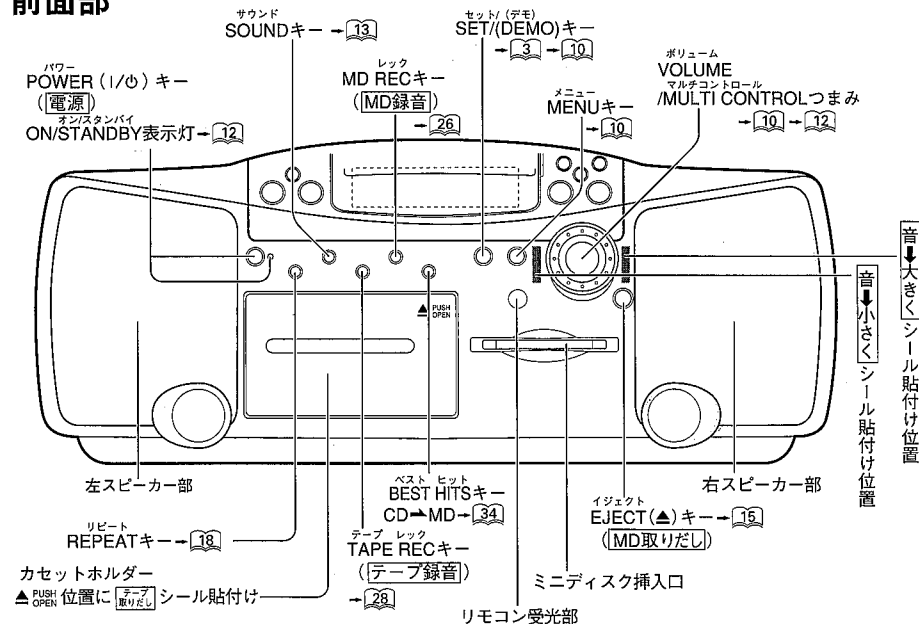
上面部



傾斜部



前面部



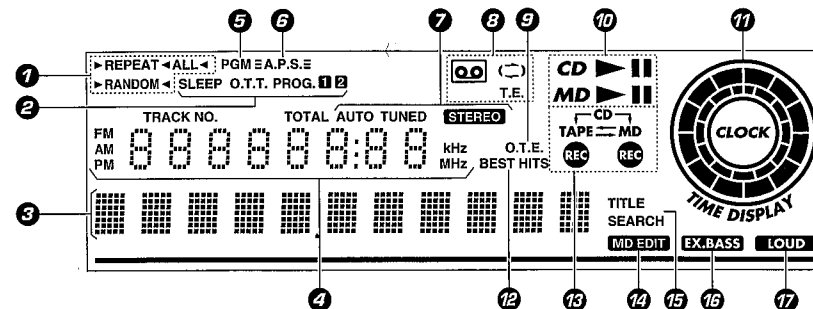
ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。
スタンバイ状態のとき、 内の各操作キーを押すと、すぐに再生(受信)します。

本機には見やすい日本語表示シールが添付されています。
 の表示がある各キーの近くに貼ってお使いください。

表示部

本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。



- 1 CD、MD関連表示
- 2 タイマー関連表示
- 3 文字情報表示部 (ドット表示部)
入力切換、音量レベル、ディスク/トラックタイトル、など
色々な文字情報を表示します。
- 4 文字情報表示部
周波数表示、時間表示、トラックNo、プログラムNo、などを
表示します。
- 5 PGM (プログラム) 表示
- 6 A.P.S. (オートパワーセーブ) 表示
- 7 チューナー関連表示
- 8 カセットデッキ、リバースモード、テープイコライザー
表示

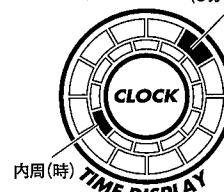
- 9 O.T.E. (One Touch Edit) 表示
ワンタッチ録音をするときに表示されます。
- 10 CD、MD再生/一時停止表示
CDまたはMDの再生、一時停止の状態を表示します。
- 11 CLOCK表示部
時刻表示や、ボリューム調整時とバランス調整時等の表示
を行います。
- 12 BEST HITS 表示
ベストヒット録音をするときに表示されます。
- 13 TAPE REC、MD REC表示
編集
MD EDIT表示
タイトル
TITLE SEARCH表示
エクストラバス
EX.BASS表示
ラウドネス
LOUD表示

CLOCK表示部について

CLOCK表示部は時刻の表示、ボリュームレベル調整やバ
ランス調整時の表示として機能します。
外周部分と内周部分が時刻に合わせて点灯してゆきます。
ボリュームレベル調整やバランス調整時には、
"VOLUME/MULTI CONTROL"つまみの調整量に合わせ
て、表示部の外周部分が変化します。

時刻表示の時
(時刻表示例: 8時7分)

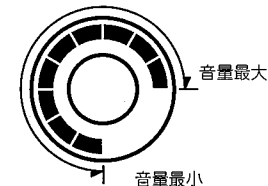
外周(分)
(5分単位で表示)



スタンバイ状態の時に停止(■)キーを押すと、5秒間時刻を
表示します。

ボリュームレベル調整時

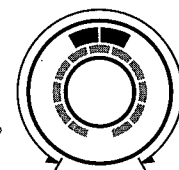
ボリュームレベルはCLOCK表示部の
外周部で表示します。



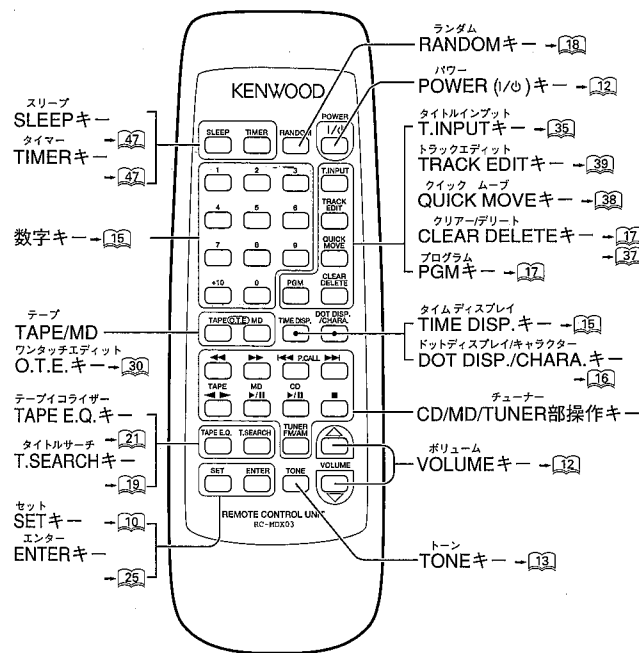
バランス調整時

CLOCK表示部の外周部分でバランスを表示します。

(表示例: センター)

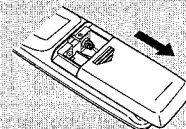


本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

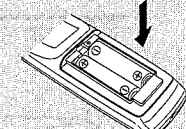


電池の入れかた

① カバーを開く

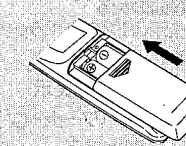


② 電池を入れる



● 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

③ カバーを閉める



操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの **POWER (I/O)** キーを押すと、電源がオンになります。

電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度 **POWER (I/O)** キーを押します。

"ON/STANDBY"表示灯のみが点灯するスタンバイ状態になります。

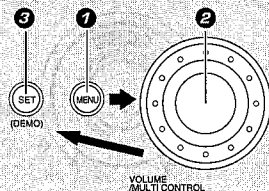
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。
- リモコンの操作範囲の目安は、本体から約6m以内です。本体の正面に向けて、操作してください。



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯 (インバーター方式等) の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

VOLUME/MULTI CONTROLつまみについて(本体部)

- ① **MENU** キーを押す。
- ② **VOLUME/MULTI CONTROL**つまみを廻し項目を選び、
- ③ **SET/(DEMO)** キーで各設定項目の設定や確定をします。



廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?	- 21
REC MODE	?	- 31
ケンメイセッテイ	?	- 22
(入力切替がチューナーの時のみ)		
AUX LEVEL	?	- 43
(入力切替が外部入力の時のみ)		
BALANCE	?	- 13
TIMER SET	?	- 44
A.P.S. SET	?	- 13

● 5秒間操作しないと通常モードに戻ります。

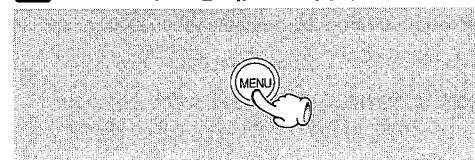
時刻合わせを済ませてから、タイマーを使用してください。

準備

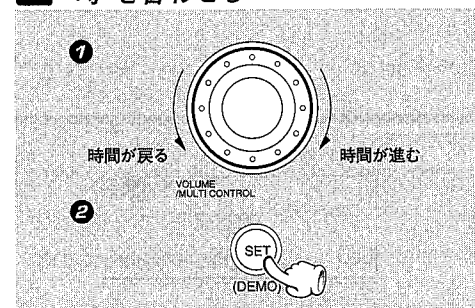
はじめに **POWER (I/O)** キーを押して電源を入れます。



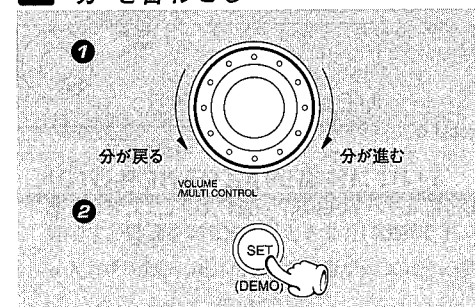
1 MENUキーを2秒以上押す



2 "時"を合わせる

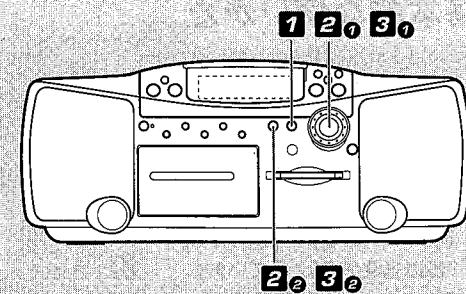
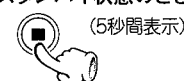


3 "分"を合わせる

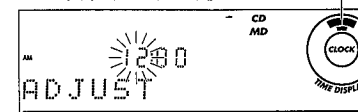


時刻表示をさせるには

(スタンバイ状態のとき) (電源オンのとき)

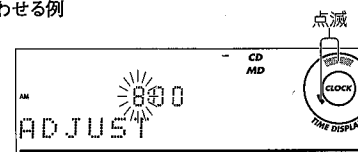


- 設定時は、CLOCK表示部が点滅を始めます。



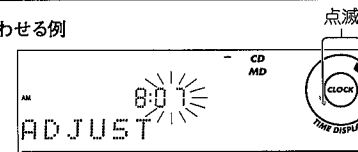
- 時間表示が点滅を始めます。

8時7分に合わせる例



- 時間は12時間表示で表示されます。
- **"SET/(DEMO)"** キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

8時7分に合わせる例

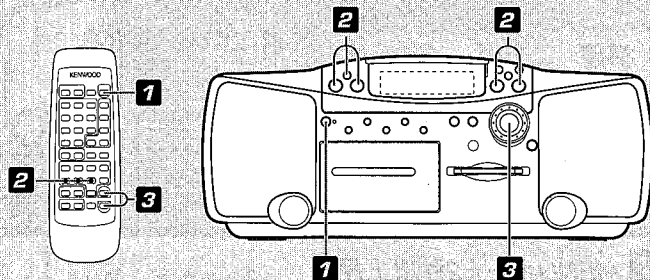


- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時に **SET/(DEMO)** キーを押すと正確な時刻合わせができます。
- 10分以上停電があったり、電源プラグを10分以上コンセントから抜いたときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- **SET/(DEMO)** キーを押して、設定が終了すると、"COMPLETE !" と表示します。
- 時刻合わせが済むと ":" (コロン) が点滅します。

基本的な使いかた

"STANDBY"状態について

本機の"ON/STANDBY"表示灯が点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行なわれています。これをスタンバイ状態といいます。このときは、リモコンで本機をオンできます。



1 POWER (I/O) キーを押して電源を入れる

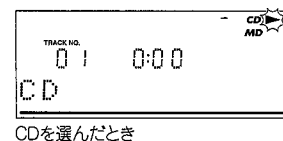
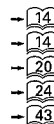
電源がオンのときに POWER (I/O) キーを押すとオフになり、"ON/STANDBY"表示灯が赤色に点灯します。

タイマー (O.T.T., PROG 1, 2) オンの時は緑色に点灯します。 - 47

- CD ▶/II, MD ▶/II, TAPE ◀▶ キーまたは、TUNER FM/AM キーを押しても、電源がオンになり、再生 (受信) します。
(ワンタッチオペレーション機能)
- CD, MD, TAPE を選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

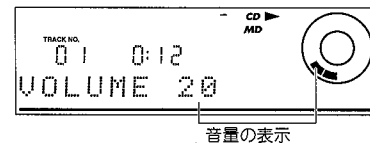
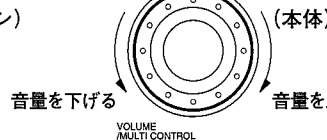
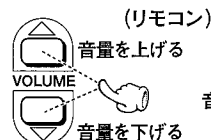
2 聴きたいものを選ぶ

- CD を聴く ; CD ▶/II キーを押す
- MD を聴く ; MD ▶/II キーを押す
- テープを聴く ; TAPE ◀▶ キーを押す
- ラジオを聴く ; TUNER FM/AM キーを押す
- AUX (外部入力) ; AUX キーを押す



CD を選んだとき

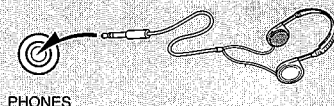
3 音量を調節する



音量の表示

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグを背面の"PHONES"端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

レコードプレーヤーを接続して、本機のすぐ横に置いた場合、音量を大きくしたときなどに"フーン"というハウリング現象が起きる場合がありますが、この場合は、本機とレコードプレーヤーの間隔を離してお使いください。

低音と高音の調整

低音と高音をワンタッチで補正する

- EX. BASS (エクストラバス) : 音量にかかわらず低音域を補正します。
- LOUD (ラウドネス) : 音量に合わせて低音域を補正します。
(小音量時に有効です)



押すたびに切り換わります。

- ① "EX. BASS" 点灯
- ② "LOUD" 点灯
- ③ 消灯.....サウンドモード解除

- "LOUD" または "EX. BASS" 表示が点灯中に、下で説明する音質の調整をすると、表示は消灯し解除されます。

低音と高音を細かく調整する (リモコンのみ)

- ① TONE キーを押す
押すたびに切り換わります。

- ① "BASS" (低音域) を調整
- ② "TREBLE" (高音域) を調整
- ③ 通常状態

(5秒以内に手順②へ)

- ② VOLUME キーで調整する

- "BASS"、"TREBLE"とも2ステップ毎に、-8~+8の範囲で調整できます。
- "LOUD" または "EX. BASS" 表示が点灯中に音質の調整をすると、"LOUD" または "EX. BASS" は解除されます。

(他の音域を選ぶ時は手順①、②を繰り返します)

バランスの調整

左右の音量バランスを調整します。(本体でのみ操作可能)

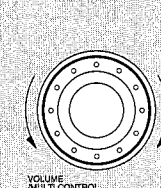
1 "BALANCE ?" を選ぶ

- ① MENU キーを押す



- ② VOLUME/MULTI CONTROL つまみでメニューを選ぶ

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

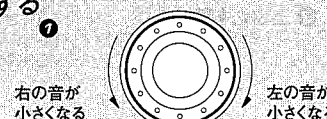


- TAPE RVS. ?
- REC MODE ?
- ケンメイセッテイ ?
(チューナー選択時のみ)
- AUX LEVEL ?
- BALANCE ?
- TIMER SET ?
- A.P.S. SET ?



- ③ SET/(DEMO) キーを押す
("?"マークが点灯中に押します。)

2 調整する



- ③ SET/(DEMO) キーを押す



- VOLUME/MULTI CONTROL つまみでの調整量に合わせて、CLOCK 表示が変化します。

AUTO POWER SAVE 機能について

電源がオンで、CD、MD、TAPE のすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。電源を切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作でオン/オフを選べます。

- 入力が TUNER、AUX のときは、音量がゼロのときに限り働きます。

- ① メニュー表示で "A.P.S. SET?" を選ぶ



- ② 選択する

APS をオフに



- ③ SET/(DEMO) キーを押す



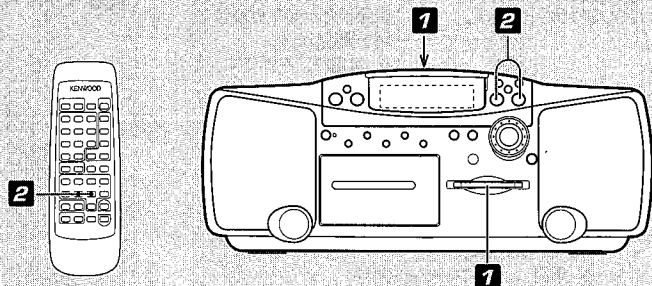
MDX-E3 (J)



CDプレーヤーや、MDレコーダーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ▶/IIキーやMD ▶/IIキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたテキスト情報（ディスクまたは曲のタイトル）が自動的に表示されます。

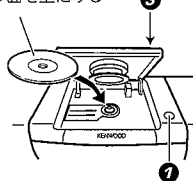


1 ディスクを入れる

CDを聴くとき

- ① 上ぶたを開ける
(PUSH OPEN ボタンを押す)
- ② ディスクを入れる
- ③ 上ぶたを閉める

ラベル面を上にする



- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。

ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

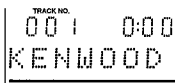
MDを聴くとき

電源をオンにして、ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

表示が変わります



矢印の方向に入れる



ディスクタイトル

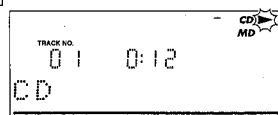
- ディスクにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

注意

スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2 再生を始める

CDを聴くとき

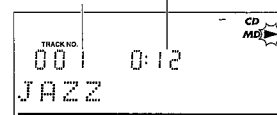


- CD-TEXT対応のCDでは、タイトルが表示されます。
- 数秒後に1曲目から再生します。

MDを聴くとき



再生中のトラック番号



トラックタイトル

- 数秒後に1曲目から再生します。

一時停止する

CDを聴くとき

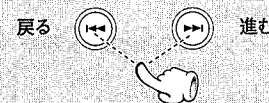


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

MDを聴くとき

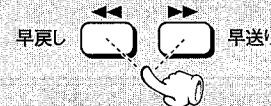


曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの◀◀、▶▶キーでも操作できます。

早送り・早戻しする (リモコンのみ)



- 手を離れたところから再生します。

CD/MDプレーヤーの時間表示について (リモコンのみ)

TIME DISP.



タイムディスプレイ
TIME DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 1:23 (再生中の曲の経過時間)
- ② - 2:37 (再生中の曲の残り時間)
- ③ TOTAL 23:45 (ディスク全体の経過時間)
- ④ - TOTAL 36:15 (ディスク全体の残り時間)

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生 (CD再生のみ) 時には、①と②のみ表示します。

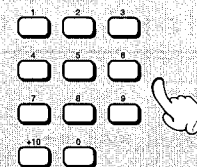
MDX-E3 (J)

再生を止める



好きな曲から聴く (リモコンのみ)

曲を選ぶ



数字キーを押す順序は

23曲目なら [+10] [+10] [3]
40曲目なら [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

- "PGM"表示が点灯しているときは、MDまたはCDを停止させ、リモコンのPGMキーを押して、消灯させてください。

ディスクを取り出す

CD

PUSH OPEN



MD

EJECT



モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最長148分)になります。

ドットディスプレイ キャラクター
DOT DISP./CHARA. キーについて



テキスト
CD TEXT 対応ディスクやMDのタイトルが、ドット表示部に表示されない場合に押すと、表示がスクロール(左方向に移動)して、表示されていない部分を確認できます。
MDの場合、ドット表示部の表示モードを切り換えることができます。(下図)

CD-TEXT対応ディスクのとき

(停止中に操作します)

ディスクタイトルをスクロール表示

World Music

MDのとき

(停止中、再生中に操作します)

押すたびに切り換わります。

① タイトル表示

KENWOOD

② タイトルをスクロール表示

KENWOOD

(1回スクロール表示した後①に戻ります)

③ ②のタイトルスクロール表示中に押すと、MDの録音可能時間を表示

001 R54:32

(5秒経過すると①に戻ります)

- 曲名(トラックタイトル)ならびにミニディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"NO TITLE"が表示されます。
- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)

MDX-E3 (J)

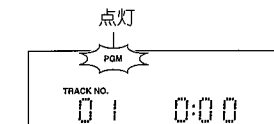
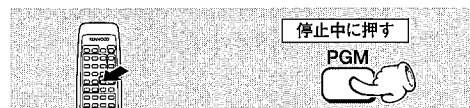
MDX-E3 (J)

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

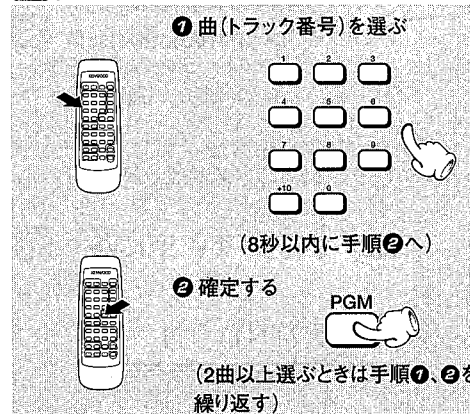
好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

入力切替を"CD"または"MD"にする(■キーを押して、停止状態にする。)

1 "PGM"表示を点灯させる



2 聴きたい順に曲を選ぶ

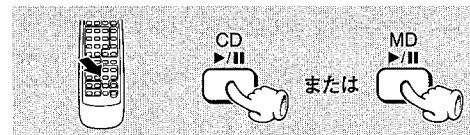


数字キーを押す順序は

23曲目なら: [+10] [+10] [3]
40曲目なら: [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

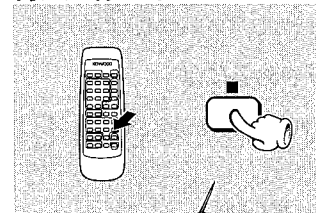
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、**CLEAR DELETE**キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"--:--"になります。

3 再生する

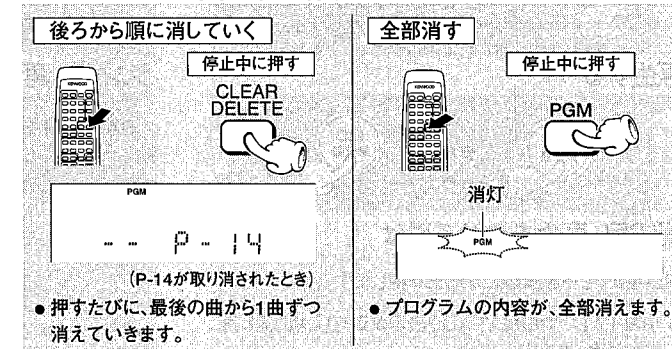


- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを一回押すと、その曲の最初に戻ります。

再生を停止する



プログラムした曲を取り消すには



- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

- プログラムの内容が、全部消えます。

繰り返し聴く(リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。
(REPEATキーは本体のみ)

一曲(CDのみ)または全曲を繰り返し聴く時の設定

① 入力切換を"CD"または"MD"にする。("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)

② REPEATキーを押す、リピートモードを選ぶ。
押すたびに切り換わります。

① "REPEAT"(CDのみ)
一曲を繰り返し再生

② "REPEAT ALL"
全曲を繰り返し再生

③ 消灯.....リピート解除

点灯
一曲繰り返し再生 (CDのみ)

点灯
全曲繰り返し再生 (CDのみ)

選んだ曲だけを繰り返し聴く時の設定

① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする

② REPEATキーを押す。
"REPEAT"、"PGM" が点灯し、選んだ曲全部を繰り返します。

再生する

または

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを解除になるまで押します。

- "REPEAT"、"REPEAT ALL"表示が消灯し、繰り返し再生が解除されます。

ランダム再生を楽しむ(CDのみ)

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。(リモコンのみ)

① 入力切換を"CD"にする。
("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)

② RANDOMキーを押す。
押すたびに切り換わります。

① "RANDOM"点灯
ランダム再生をする

③ 消灯.....通常の再生

● 全曲の再生が1回終わると停止します。

● REPEATキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

CD RANDOM

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶ キーを押すと別の曲をランダムに選びます。

● ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

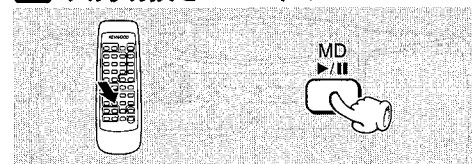
RANDOMキーを押して、表示を消灯させる

● "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

聴きたい曲をタイトルで探す(タイトルサーチ)(MDのみ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲をタイトルで探すことができます。
(ミニディスクや曲にタイトルをつける → 35)

1 入力切換をMDにする



2 ■キーを押して、停止させる



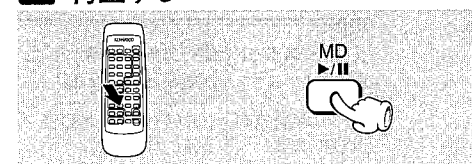
3 タイトルサーチ T.SEARCHキーを押す



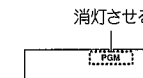
4 ◀◀、▶▶キーで聴きたい曲を選ぶ



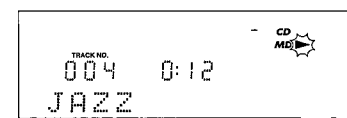
5 再生する



● "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

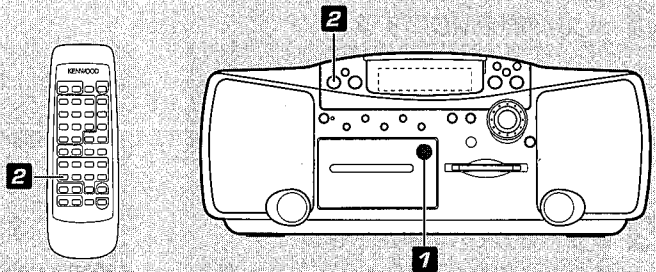


- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号(曲番)と"NO TITLE"が表示されます。
- 本体の◀◀、▶▶キーでも曲を選ぶことができます。

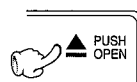




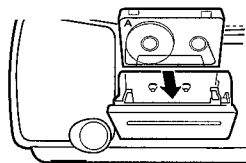
MDX-E3 (J)
カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPEキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



1 カセットテープを入れる



- ① カセットホルダーを開ける
プッシュ オープン
▲PUSH OPEN 表示部分を押しします。
- ② テープを入れ、カセットホルダーを閉める



- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態にしてください。
- ドアは確実に閉めてください。

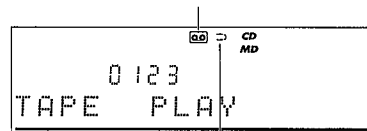


2 再生を始める



再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。

デッキにテープが入っているときに表示されます。



リバースモードと走行方向の表示

停止中

テープの走行方向が点灯します

← または → 点灯

再生中、録音中

リバースモードの表示になります。

走行方向が点滅

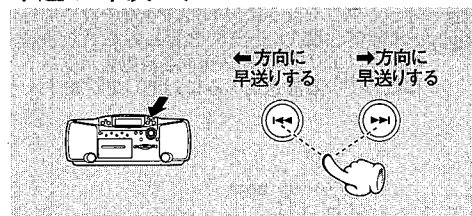
走行方向について

ワンタッチオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするとき、テープが進む方向は最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

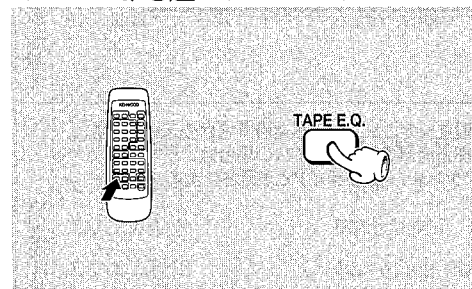
(向きを変えるときは、再生中に、TAPEキー (◀、▶) を押してから停止キー (■) を押します。)

MDX-E3 (J)

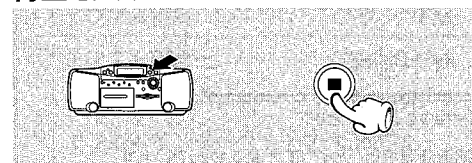
早送り・早戻しする



テープイコライザー
TAPE E.Q. を選ぶ (リモコンのみ)

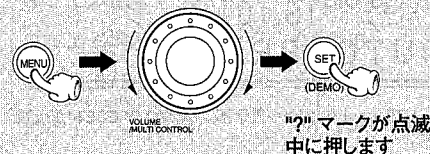


再生を止める



リバースモードを選ぶ (本体のみ)

- ① メニュー表示で "TAPE RVS. ?" を選ぶ



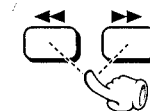
- ② 選択する



- ③ SET/DEMO キーを押す



リモコンで操作するときには ◀◀、▶▶ キーを押します。



- 早送りを止めるときは、停止キー (■) を押してください。

ドルビー録音されたテープを聴くときのみに使います。
(ドルビー録音をしていないテープでは、正常な音で再生されません)

テープイコライザーが
オンのとき点灯



押すたびに切り換わります。

- ① "T.E." 点灯 テープイコライザーを使う
- ② "T.E." 消灯 テープイコライザーを使わない

- 高音域のノイズの低減に有効です。

- テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

テープのカウンター表示について (リモコンのみ)

タイム ディスプレイ
TIME DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 0000 (テープカウンター)
- ② AM 8:45 (時刻表示)

テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが "0000" と表示されます。テープの途中で録音 (再生) を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音 (再生) のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき (走行方向表示が ← のとき) はカウンターの数字は減っていきます。

テープカウンターを "0000" にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。

0000
TAPE STOP

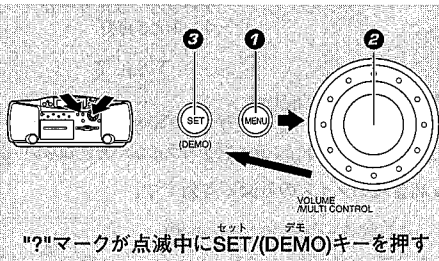
放送局をオートプリセット(記憶)する(FM/AM)

お住まいの都道府県名を選択すると、お住まいの近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信するとFM放送の場合のみ放送局名を表示します。(エリア別FM放送局名自動表示) (放送局名リスト → 23)

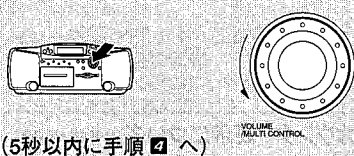
1 入力切換をTUNERにする



2 "ケンメイセッテイ?"を選ぶ



3 お住まいの都道府県名を選択する



4 SET/(DEMO)キーを押す



●オートプリセットが開始されます。

希望の放送局名が表示されないとき

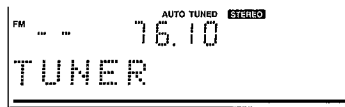
放送地域によって、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、SET/(DEMO)キーを押すと放送局名を変えることができます。



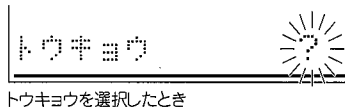
●希望する放送局名がエリア別放送局名自動表示リストにない場合は、SET/(DEMO)キーを押しても、表示は変化しません。



オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示はエリア別FM放送局名自動表示リストに載っている放送局のみに対応しています。

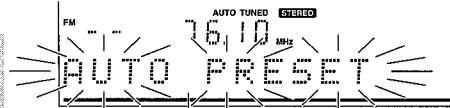


- 現在設定されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定してない場合は、"ケンメイ セッテイ?"と表示されます。



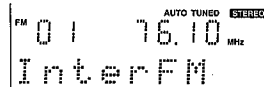
トウキョウを選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。



オートプリセット中はドット表示部に"AUTO PRESET"が点滅しています。

- オートプリセットをおこなうと、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局が良好に受信できない場合があります。
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。(受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合は、"TUNER"とプリセットチャンネルを表示します。)



エリア別FM放送局名自動表示リスト

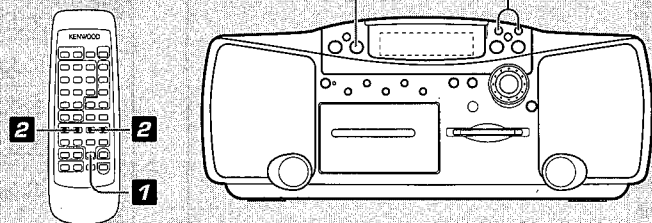
1998年8月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ハウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ

	放送局	表示名
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまくに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミュ- FM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

放送局を選ぶ

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。



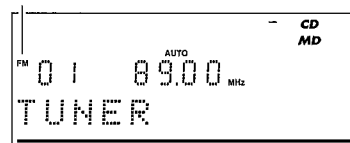
1 チューナー TUNER FM/AMキーを押し、放送バンドを選ぶ

一回押すとチューナーに切り換わります。チューナーに切り換わったあと、押すたびに放送バンドが切り換わります。



- ① FM
- ② AM

放送バンドの表示

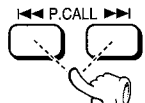
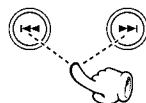


2 放送局を選ぶ (先にオートプリセットする事をおすすめします。→22)

記憶させた放送局を聞く時(プリセットコール)

本体で操作するとき

リモコンで操作するとき



キー(←, →)を押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶を押すと... 1→2→3... 38→39→40→1...
 ◀◀を押すと... 40→39→38... 3→2→1→40...

- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンの数字キーでもプリセットコールができます。

放送局を記憶させていない時

電波の強弱の状態により選局モードを切替えます。

電波の状態が良いとき:

オート選局モード(ステレオ受信)

電波が弱く雑音が多いとき:

マニュアル選局モード(モノラル受信になります。)

① オート選局とマニュアル選局を切り換える

(リモコンのみ) 押すたびに切り換わります。

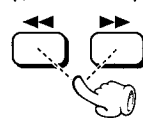


- ① オート選局....."AUTO" 点灯
- ② マニュアル選局...."AUTO" 消灯

- 通常はAUTO (オート選局、ステレオ受信) にしておきます。

② 選局をする

(リモコンのみ)

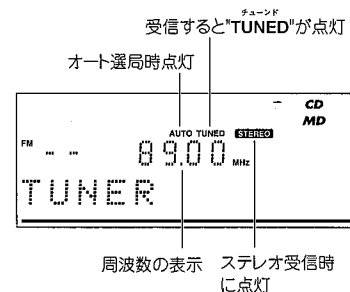


オート選局のとき:

押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

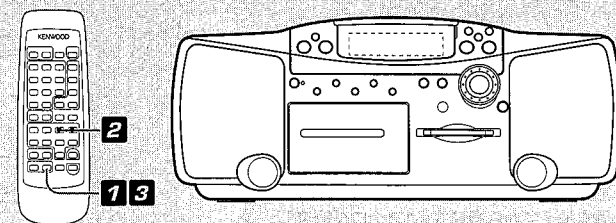
マニュアル選局のとき:

希望する放送局を受信するまで押す。



放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット) (リモコンのみ)

お好みの放送局だけを選んで1局ずつプリセットすることができます。



1 受信中にENTERキーを押す



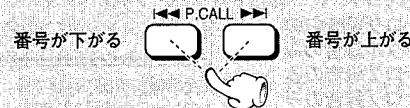
(「MEMORY」表示中に、手順②へ)



「MEMORY」表示(約5秒間)

2 ◀◀、▶▶ キーで「プリセットナンバー」を選ぶ

- 最大40局まで放送局を記憶できます。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

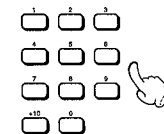


数字キーで選ぶこともできます。

数字キーを押す順序は

13局目なら、[+10] [3]

20局目なら、[+10] [+10] [0]



3 もう一度ENTERキーを押す



(続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順①、②、③を繰り返す)



チューナーの周波数表示について(リモコンのみ)

タイムディスプレイ
TIME DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① FM 01 76.10 MHz (周波数表示)
- ② AM 8:45 (時刻表示)

テレビ放送(1ch~3ch)の受信について

周波数を次のように合わせます。

1chのとき.....95.75MHz

2chのとき.....101.75MHz

3chのとき.....107.75MHz

- テレビ放送はモノラル受信になります。



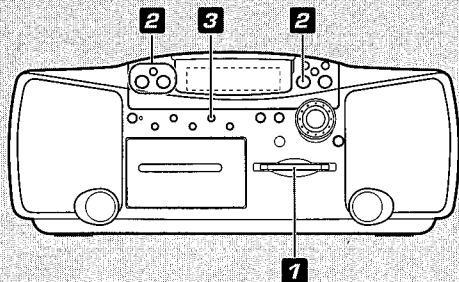
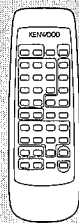
ミニディスク

MDに録音する

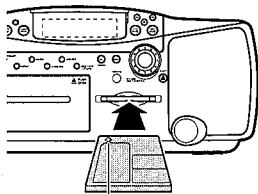
MDX-E3 (J)

本機では、モノラルモードでの録音はできません。

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。



1 録音の準備をする



矢印の方向に入れる

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → 49
② ミニディスクを入れる

注意 スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2 何を録音するか選ぶ

例: CDを選ぶとき



TUNER(放送) : アナログ録音のみ
CD : デジタル録音のみ
● TAPE : アナログ録音のみ
AUX : アナログ録音のみ



文字情報表示部に録音する入力ソースが表示されます

- すでにCDやTAPEが入っているときは、再生が始まりますので ■ キーを押して止めます。
- 入力切替がCDのときは、自動的にデジタル録音となります。

3 録音を始める



- ① MD REC キーを押す(録音ポーズ状態になります)
② 準備ができていれば、もう一度 MD REC キーを押す
③ 録音する音楽ソースを再生する

- CDからの録音は、"ワンタッチ録音"が便利です。 → 30

"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止する



- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- "MD REC" キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する



録音時のトラックナンバーについて

録音のとき、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。(テープとチューナーの場合は、トラック番号は繰り上がりません。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたときも、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、あとで削除できます。もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。



録音中に押す



- CDからのデジタル録音では、曲の切り替わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

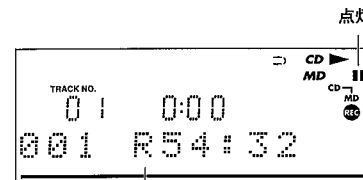
ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている。
"PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている。
"PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである。

- ➡ 不要な曲を消す。
- ➡ 閉める。
- ➡ 録音用ミニディスクを入れる。

MDX-E3 (J)



MDの録音可能時間

録音を停止すると、"WRITING"表示がでます。"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

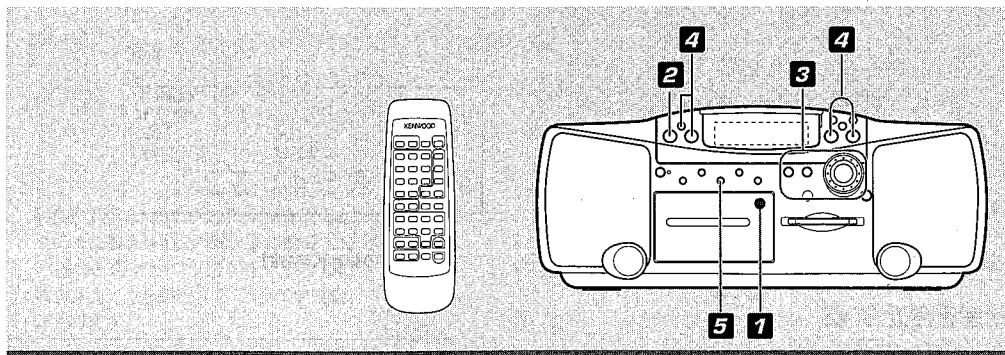


CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"1曲消す(TRACK ERASE)"または全曲消す(ALL ERASE)を参照して削除してください。

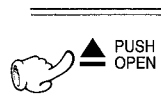
→ 41

テープに録音する

本機はメタルテープでの録音はできません。



1 録音の準備をする



- ① ドアを開ける
- ② テープを入れる
- ③ ドアを閉める

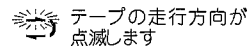
- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

2 テープの進む向きを選ぶ



走行方向を逆にしたい場合

- ① 再生する



テープの走行方向が点滅します

- ② もう一度キーを押す

- ③ 停止キー(■)を押す ("—"または"—"点灯)

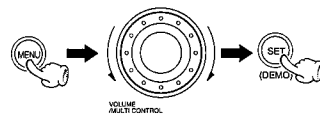
- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

3 録音条件を決める

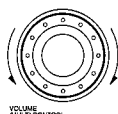
リバースモードを選ぶ - 21

- 録音時は、テープイコライザーは使えません。

- ① TAPE RVS.を選ぶ



②



③



4 何を録音するか選ぶ

TAPE以外を選ぶ



例: CDを選ぶ時

チャンネル
TUNER(放送)
CD
MD
AUX

CD

文字情報表示部に録音する入力ソースが表示されます

- すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので ■ キーを押して止めます。

5 録音を始める



● TAPE REC

- ① TAPE RECキーを押し、録音を始める
- ② 録音したい入力ソースを再生(受信)する

- 録音レベルは自動的に調整されます。
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

録音を一時停止する



- 録音中に、TAPE REC キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)

録音を停止する



点滅

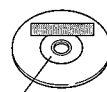
CDから録音するときのポイント

CDを録音するときは、カセットデッキを録音一時停止状態にしておくと、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

- ① 再生するCDを一時停止にする
- ② 録音したい曲をスキップキー(◀◀ ▶▶)で選ぶ(選んだ曲の初めで一時停止になります。)
- ③ カセットデッキを録音一時停止状態にする
TAPE REC キーを2回押すと、録音一時停止になります。
- ④ CDの再生を始める
(シンクロ録音がスタートします。)

- 停止キー(■)を押すと、録音を中止します。
MDからも同様の手順でシンクロ録音できます。

レンタルCD, 中古CDの取り扱いについて



クランピングエリア

- 図の様なクランピングエリアにシールが貼られている様なディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

- シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。



ワンタッチ録音 (CD→MD/CD→TAPE)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(一曲録音)

MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき

- 1 MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる
- 2 CDプレーヤーにディスクを入れる

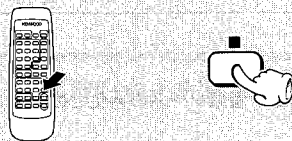
CD→TAPEのとき

- 1 "テープに録音する"の手順 1~2までを行なう
→ 28
- 2 CDプレーヤーにディスクを入れる

2 CDの再生状態を確認する

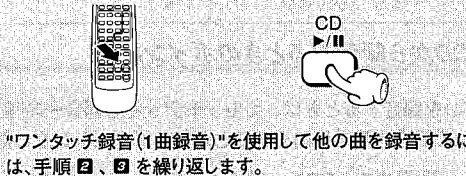
ワンタッチ録音(全曲録音)

再生中の時は停止させる

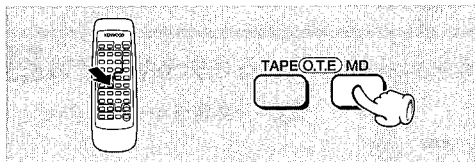


ワンタッチ録音(1曲録音)

好きな曲を選びCDを再生する



3 録音を始める



- 録音開始する時は、リモコンの MD O.T.E. キーと TAPE O.T.E. キーは、間違えないようにしてください。
- "ワンタッチ録音(1曲録音)"をした時は、MD O.T.E. または、TAPE O.T.E. キーを押すと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。
- 本体で操作する場合は"MDとテープに同時録音 (TWIN REC)"の手順 2 を参照してください。

録音を途中でやめるには



録音が終了すると.....

- CDプレーヤー : ワンタッチ全曲録音のとき
→ 停止します。
ワンタッチ1曲録音のとき
→ 一時停止します。
- MDレコーダー : 停止します。
- カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

MDとテープに同時録音 (TWIN REC) (本体のみ)

CDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。(全曲同時録音)

今聴いている曲だけを、曲の最初からMDとテープに同時に録音できます。(一曲同時録音)

MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

- 1 MD : "MDに録音する"の手順 1を行なう
→ 28
- TAPE : "テープに録音する"の手順 1~2までを行なう
→ 28
- 2 CDプレーヤーにディスクを入れる

さらに、CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順 1~2 (→ 17) を済ませたあとに、"MDとテープに同時録音 (TWIN REC)"の手順 2 の操作をすれば、プログラムした順に録音を開始します。

2 CDの再生状態を確認する

TWIN REC(全曲同時録音)

再生中の時は停止させる



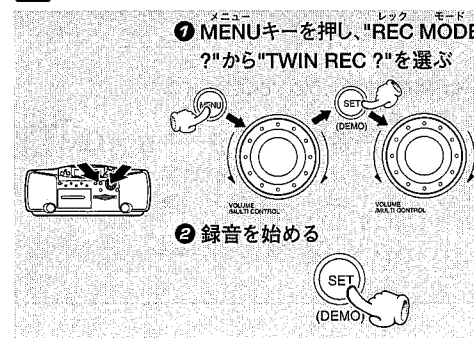
TWIN REC(1曲同時録音)

好きな曲を選びCDを再生する



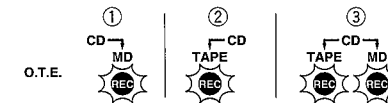
"TWIN REC(1曲同時録音)"を使用して他の曲を録音するには、手順 2、3 を繰り返します。

3 録音を始める



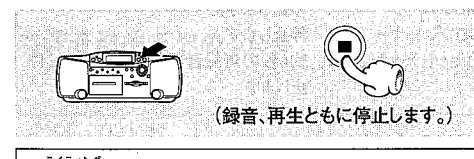
廻すたびに文字表示部が切り換わります。

- ① CD→MD ?
- ② CD→TAPE ?
- ③ TWIN REC ? (本体のみ操作可能)



- "TWIN REC(1曲同時録音)"をした時は、"SET/(DEMO)"キーを押すと、再生中の曲の最初に戻り、"REC"表示灯が点灯し、録音が始まります。

録音を途中でやめるには



録音が終了すると.....

- CDプレーヤー : 全曲同時録音のとき
→ 停止します。
1曲同時録音のとき
→ 一時停止します。

- MDレコーダー : 停止します。
- カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

プログラム録音 (CD→MD/CD→TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDまたはテープに録音することができます。

録音の準備が必要です。→ [26] - [28] (MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。)

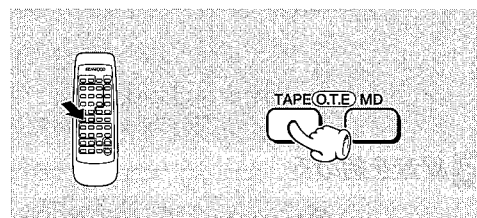
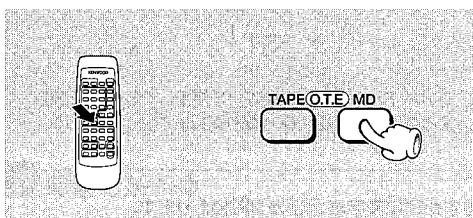
1 CDの曲順をプログラムします

CD→MDのとき

CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順 [7] ~ [9] を行う。 → [17]

- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。
- MDやテープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

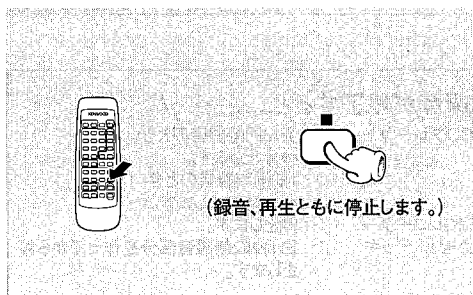
2 録音を開始する



- プログラムした曲順に録音を開始します。
- 録音開始する時は、リモコンの MD O.T.E. キーと TAPE O.T.E. キーは、間違えないようにしてください。
- 本体で操作する場合は"MDとテープに同時録音 (TWIN REC)"の手順 [9] を参照してください。

→ [31]

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。
CDプレーヤー : 停止します。
カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

ライティング
"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

プログラム録音 (MD→TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

録音の準備が必要です。→ [28] (カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。)

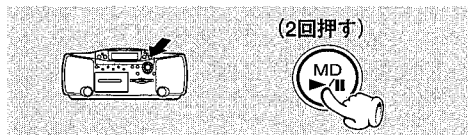
1 MDの曲順をプログラムします

MD→TAPEのとき

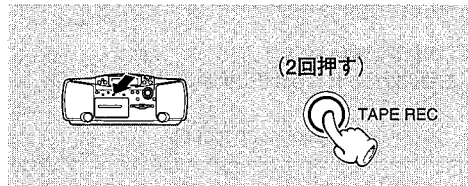
"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順 [7] ~ [9] を行う。 → [17]

- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

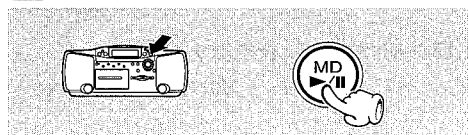
2 MD▶/IIキーを2回押し、一時停止にする



3 TAPE REC キーを2回押し録音一時停止状態にする

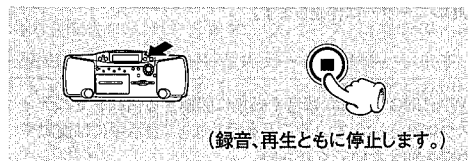


4 MD▶/IIキーを押す(録音開始)



- MDのプログラム再生を始めるとシンクロ録音がスタートします。

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終了すると.....

カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

CDの1曲目だけを録音する(ベストヒット録音)(CD→MD)

CDの1曲目だけを簡単に録音することができます。CDを交換しながらヒット曲だけをまとめて、1枚のMDにするときなどに、便利です。

録音の準備が必要です。②6 (MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。)

1 入力をCDに切り換える

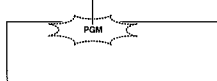


- CDに切り換えたあと■キーを押して停止させます。

2 "PGM"表示が消えているのを確かめる

"PGM"表示が点灯しているときはPGMキーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる



3 BEST HITSキーを押す

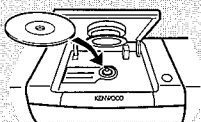


● BEST HITS
CD → MD

BEST HITS

- CDの録音が始まります。
- 1曲目の録音が終わると停止状態になります。

4 CDを交換して録音を再開する



- CDを交換した後、3 の操作をします。

3、4 の操作を繰り返して、録音します。

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終了すると.....
MDレコーダーは停止します。

ライティング
"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

MDの編集機能

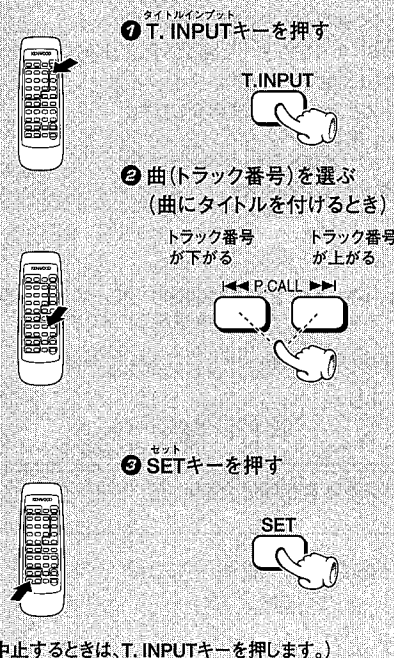
ミニディスクや曲にタイトルをつける

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)ができます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報をもとに動作します。
タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

停止、または再生中に操作してください

1 タイトル入力状態にする



ディスクタイトルをつける場合は停止状態で行ないます。
曲にタイトルをつける際、手順 1 の②の前にMD ▶/■キーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。

- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。



ディスクタイトルのとき

"disc"の表示にします



トラックタイトルのとき

目的のトラック番号を選びます



入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR DELETE)をご利用ください。

- 37

次ページに続く

2 タイトルを入力する

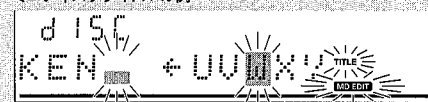
- ① 入力する文字のグループを選ぶ
DOT DISP./CHARA.
 - ② 目的の文字を選択カーソルに合わせる
P.CALL
戻る 進む
 - ③ SETキーを押して選んだ文字を確定する
SET
- ①～③を繰り返して、タイトルを入力します。

次のような種類の文字や数字、記号が選べます。
DOT DISP./CHARA. キーを何回か押して、目的の文字グループの表示にします。

- A～Z と、スペース(1文字分の空白)
- a～z と、スペース
- 0～9 と、各種記号と、スペース
- カタカナと、スペース

● ◀▶、▶▶、▶▶▶ キーを押すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。

ミニディスクタイトルの例



カーソルが移動、次の文字入力待ち

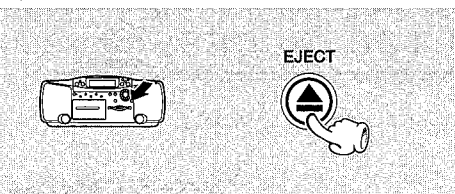
3 タイトル入力を実行する

- ① ENTERキーを押す
ENTER
- ② T.INPUTキーを押す
T.INPUT



←タイトルがスクロールします

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報をもとに動作します。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

タイトルを変更、消去する

MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報をもとに動作します。
タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

1 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の、手順 1 を行なう

2 1文字ずつ変更していく

- ① カーソルを変更する文字に合わせる



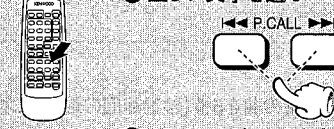
- ② 文字グループを選ぶ
DOT DISP./CHARA.



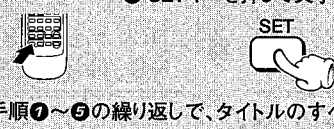
- ③ "上書き"または"挿入"モードを選ぶ
T.SEARCH



- ④ 正しい文字を選ぶ
P.CALL



- ⑤ SETキーを押して文字を確定する
SET



(手順①～⑤の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます)

3 タイトルの変更を実行する

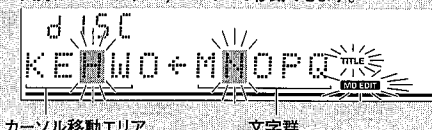
- ① ENTERキーを押す
ENTER



- ② T.INPUTキーを押す
T.INPUT



入力カーソルは、◀▶、▶▶ キーで移動できます。



カーソル移動エリア

文字群

- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀▶、▶▶ キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていた部分が現われます。

タイトルサーチ
T.SEARCH キーを押すたびに切り換わります。

- ① 上書きモード: 文字を入れ替えるとき
(カーソル "■" が大きくなる)
- ② 挿入モード: カーソルの前に文字を入力するとき
(カーソル "■" が小さくなる)

消去(削除)するとき

- ① カーソルを消去(削除)する文字に合わせる
- ② 文字を消去(削除)する
CLEAR DELETE



- カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、後の文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにする)と、簡単にタイトルを消去できます。



タイトルがスクロールします

- 編集終了後は、必ずミニディスクを取り出してください。

曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE)

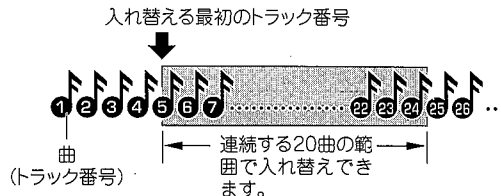
並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ替えます。

(操作例)

トラック番号5を選ぶ 5~24番内の曲が入れ換え
変更可能となる

トラック番号を順に入力する(7, 10, 15, ...)

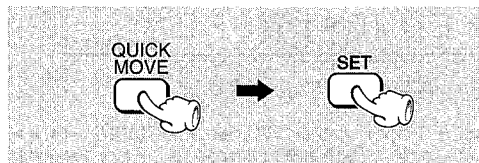
5番以降24番までが番号を入力した順に並べ替わる。



停止中に操作してください

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 QUICK MOVE キー、SETキーの順に押す



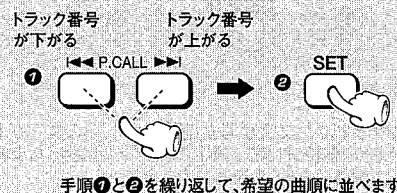
2 入れ替える範囲の最初の曲番をいれる

入れ替え範囲の最初の曲を選び、SETキーを押す



3 希望の曲順に並べ替える

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す



手順①と③を繰り返して、希望の曲順に並べます。

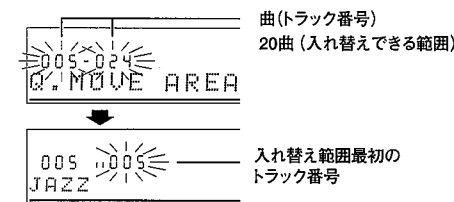
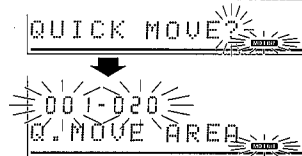
4 曲順の入れ替えを終了(確定)する



5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

MDは、編集終了後、取り出し操作をしたときに情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

中止するときは、もう一度 QUICK MOVE キーを押します



(例)

トラック番号7番の曲を5番(移動範囲の最初)に移動
移動先のトラック番号



移動元のトラック番号

- トラック番号をセットする度に順に移動していきます。
- ◀▶ キーで、選んだ曲順の確認ができます。

COMPLETE !

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ替えることができます。

停止中に操作してください

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 "MOVE?"を選ぶ

① TRACK EDITキーを押す

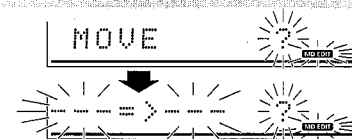


② SETキーを押す



押すたびに切り換わります。

- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除



2 移動する曲を選ぶ

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す



3 移動先を選ぶ

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す

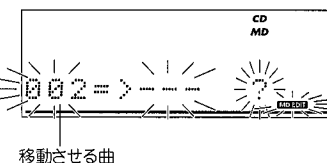


4 曲順の入れ替えを終了(確定)する



5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

MDは、編集終了後、取り出し操作をしたときに情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。



移動させる曲

移動先のトラック番号



COMPLETE !

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 分割したい曲を再生する

- 再生一時停止中にも編集できます。

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

1 TRACK EDITキーを押し、"DIVIDE?"を選ぶ

押すたびに切り換わります。

- 1 DIVIDE?
- 2 COMBINE?
- 3 ERASE?
- 4 編集解除

002 0:12
DIVIDE

2 SETキーを押す



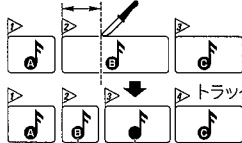
002 < > 003

3 曲の分割を終了(確定)する



COMPLETE !

約2秒以上必要



分割された曲(前半)
分割された曲(後半)

- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 分割する曲にタイトルが付けられているときは、2つの曲が同じタイトルになります。

1~3を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 "COMBINE?"を選ぶ



ミニディスクの最初の曲の再生中には "COMBINE?" を選べません。

1 TRACK EDITキーを押し、"COMBINE?"を選ぶ

停止中

再生中

押すたびに切り換わります。



- 1 MOVE?
- 2 COMBINE?
- 3 ALL ERASE?
- 4 編集解除

2 SETキーを押す



再生中に曲をつなぐ場合は、手順 3へ

- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。

2 つなぎたい曲を選ぶ

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す

トラック番号
が下がる

トラック番号
が上がる



- つなぐ前半の曲は2秒以上必要です。
- つないだ曲は、前半の曲のトラック番号とタイトルが付きます。後の曲のトラック番号は自動的に調整されます。

3 曲の分割を終了(確定)する



COMPLETE !

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

1曲消す (TRACK ERASE) または全曲消す (ALL ERASE)

1曲消す場合 (TRACK ERASE)

再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

全曲消す場合 (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 準備をする

1曲消す (TRACK ERASE) のとき

1 再生状態にする



2 消したい曲を選ぶ

戻る

進む

2 TRACK EDITキーを繰り返し押す

"ERASE?"を選ぶ



押すたびに切り換わります。

- 1 DIVIDE?
- 2 COMBINE?
- 3 ERASE?
- 4 編集解除

002 0:12
002 ERASE?

3 消去を実行する



COMPLETE !

- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)

全曲消す (ALL ERASE) のとき



(停止状態にします)



1 "ALL ERASE?"を選ぶ



押すたびに切り換わります。

- 1 MOVE?
- 2 COMBINE?
- 3 ALL ERASE?
- 4 編集解除

2 SETキーを押す



ALL ERASE?

- ◀▶キーでトラック番号を選んで、トラックを消去することもできます。



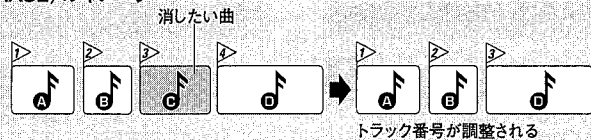
COMPLETE !
BLANK DISC

- ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)

次ページに続く

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

1曲消す (TRACK ERASE) のイメージ



曲の一部分を消す

① 曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけを1つの曲にする。

② 1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去する。

この手順を使って、目的の部分だけを消去することができます。

① 消したい部分を1つの曲にする



曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけで1つの曲になるように、編集してください。

曲を分ける (TRACK DIVIDE)

→ 40

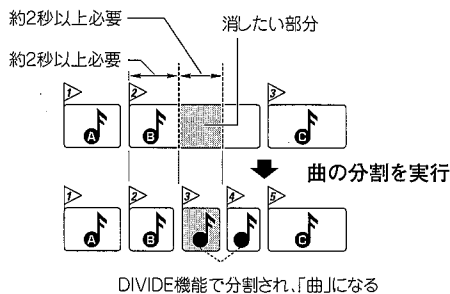
② 消したい部分を消去する



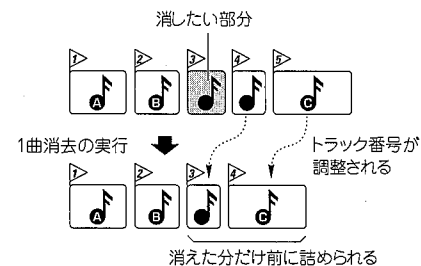
1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、手順①で作った「曲」(消したいところ)を消去してください。

1曲消す (TRACK ERASE)

→ 41



● 曲の前半や後半だけを消去する場合は、1か所だけTRACK DIVIDEを行ってください。



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。
タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

AUXインプットレベルの調整

AUX入力端子に接続された外部機器 (MDプレーヤー、レコードプレーヤー、ビデオデッキなど)からの入力レベルを調整します。CD,MDなどと同じくらいの大きさに聞こえるように、調整してください。(本体でのみ操作可能)

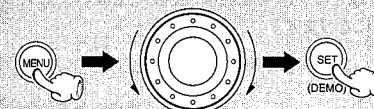
1 AUX (外部入力)を選ぶ

① AUX (外部入力)を選ぶ



② 接続した機器を再生してみる

2 "AUX LEVEL ?"を選ぶ

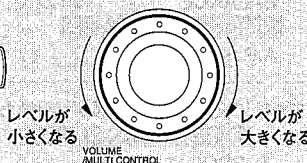


廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
ケンメイセッテイ	?
(入力切換がチューナーの時のみ)	
AUX LEVEL	?
(入力切換が外部入力の時のみ)	
BALANCE	?
TIMER SET	?
A.P.S. SET	?

3 調整する

① インプットレベルを調整する



② SET/(DEMO)キーを押す



INPUT +2

設定レベル (約5秒間表示)

- インプットレベルを調整するときは、"INPUT"の表示中におこないます。
- -6~+3の範囲で調整ができます。

オペレート イージートゥー ユーズタイマー (Operate easy To use Timer: O.T.T.):

指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフになります。設定直後の1回だけ働きます。

タイマー再生、タイマー録音 (PROG.1, PROG.2):

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

AI タイマー再生 (PROG.1, PROG.2):

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなります。

おやすみタイマー (SLEEP):

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。

O.T.T. (簡単タイマー) を設定する

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー再生ができます。電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフになります。

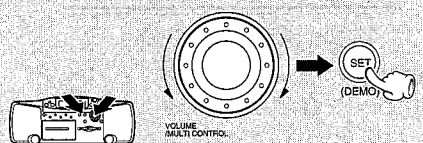
① 聴きたいソースを選び、音量を設定する

② "TIMER SET ?" を選ぶ



"?" マークが点滅中に
SET/(DEMO)キーを押す

③ "O.T.T. SET ?" を選ぶ



④ オン時刻をセットする



⑤ SET/(DEMO)キーを押す

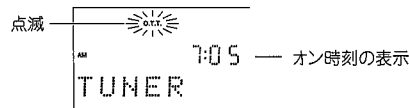


廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
ケンメイセッテイ	?
(入力切換がチューナーの時のみ)	
AUX LEVEL	?
(入力切換が外部入力の時のみ)	
BALANCE	?
TIMER SET	?
A.P.S. SET	?

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

① O.T.T. SET	?
② PROG. 1 SET	?
③ PROG. 2 SET	?



● オン時刻は、5分単位で設定できます。

O.T.T. を実行するには

"タイマーの実行と解除"の、手順①と②を行います。

プログラムタイマーを設定する

2系統 (PROG.1, PROG.2) の24時間タイマー (毎日働きます) です。

PROG.1, PROG.2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

1 聴く(録音する)ための準備をする

CDを聴く

ディスクを入れる。
(プログラム再生はできません。)

MDを聴く

ミニディスクを入れる。
(プログラム再生はできません。)

テープを聴く

テープをセットする。

ラジオを聴く

放送局をプリセットしておく。
- 22 - 25

外部入力ソースを聴く

AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする。

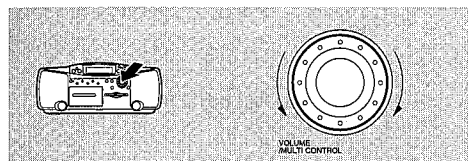
録音する

録音の準備をする。

MD - 26
TAPE - 28

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2種類を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

2 音量を調節する



- タイマーで録音するとき、タイマーがオンになると、自動的にミュート(消音機能)がオンになります。

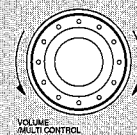
3 プログラム番号を選ぶ

① "TIMER SET ?" を選ぶ



"?" マークが点滅中に
SET/(DEMO)キーを押す

② "PROG. 1 SET ?" または
"PROG. 2 SET ?" を選ぶ



③ SET/(DEMO)キーを押す



(プログラム内容の表示中に押す)

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
ケンメイセッテイ	?
(入力切換がチューナーの時のみ)	
AUX LEVEL	?
(入力切換が外部入力の時のみ)	
BALANCE	?
TIMER SET	?
A.P.S. SET	?

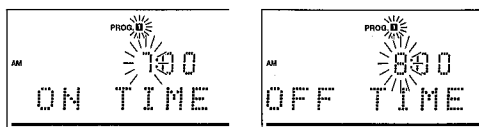
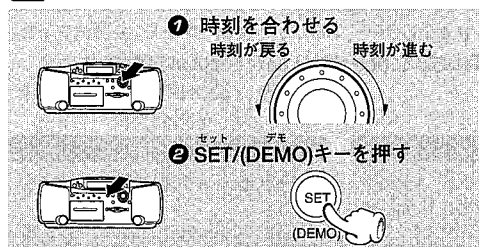
廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

① O.T.T. SET	?
② PROG. 1 SET	?
③ PROG. 2 SET	?

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
- 前の設定内容を表示します。(変更しない場合は、そのままSET/(DEMO)キーを押してください)

次ページに続く

4 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する



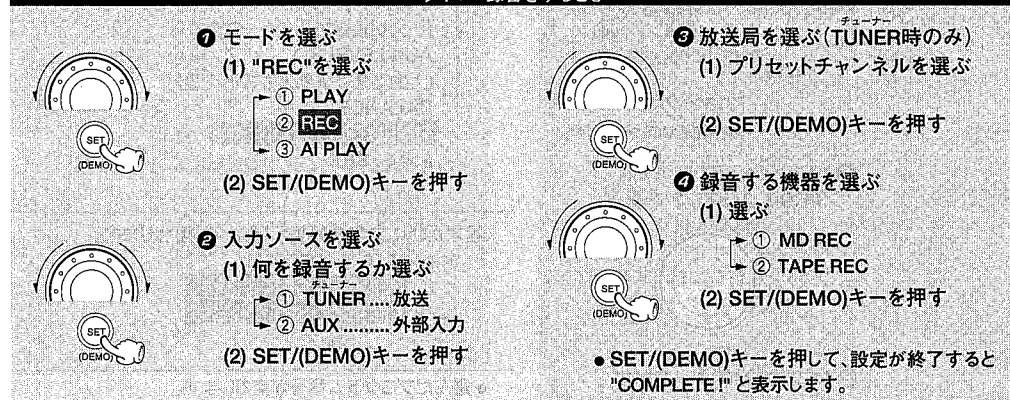
- オン時刻とオフ時刻ともに①、②の手順を行ない"時間"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは手順②からやり直してください

5 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき



タイマー録音をするとき

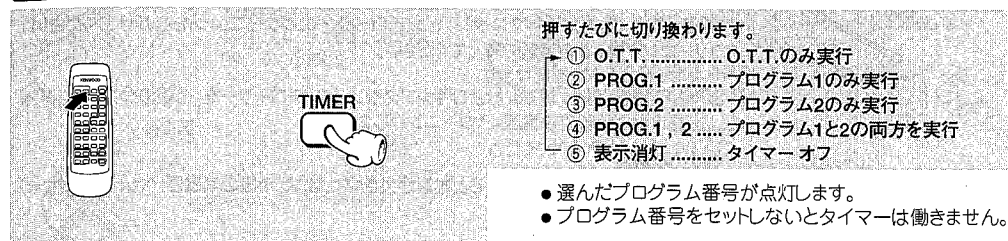


プログラムタイマーを実行するには

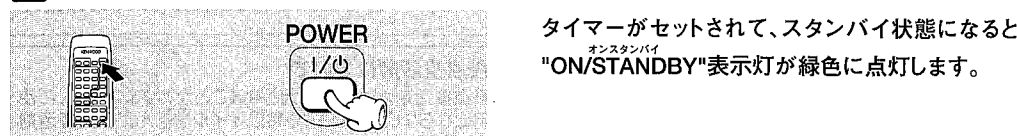
"タイマーの実行と解除"の、手順①と②を行います。

タイマーの実行と解除

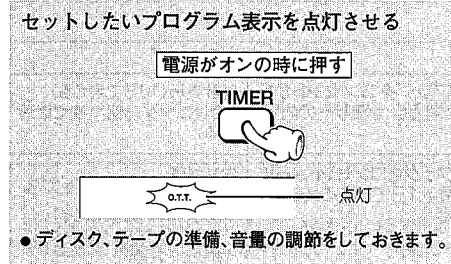
1 働かせたいプログラム番号をセットする(リモコンのみ)



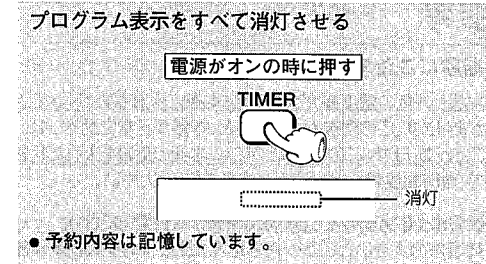
2 スタンバイ状態 (POWERキーでオフ) にする



再び同じ内容のタイマーをセットする



タイマーを働かせたくないとき



予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

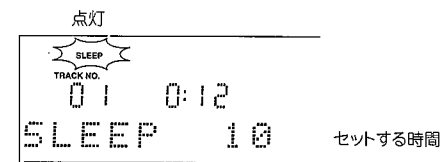
おやすみタイマー (SLEEP)

何分後に電源を切るかを設定します



- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 一回押すごとに10分ずつ増えていきます。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20

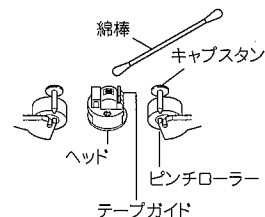


解除するには

電源をオフにする、またはSLEEPキーを解除になるまで押す

メンテナンス

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶぎします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

- ① CD、MDを取り出します。
- ② MD ▶/II キーを押す。
- ③ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

MD NO DISC

- ④ CD ▶/II キーを押す。
- ⑤ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

- ⑥ 数秒間待って、電源をオフにします。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くと消える、メモリーの内容

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容

アンプ部
電源の状態
(オンまたはスタンバイ)
ラストインプットセクター
ボリューム値
トーンコントロール値
AUXインプット値
バランスの設定
チューナー部
受信バンド
周波数
プリセット放送局
オート選局の設定
プログラムタイマーの設定
内容
カセットデッキ部
テープ走行方向
テープイコライザー
リバースモード

ステレオ音のエチケット

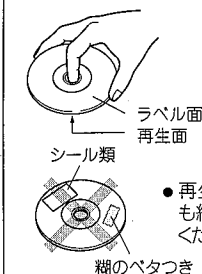


楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開けたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

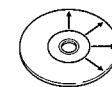
ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意



取り扱い
再生面にふれないように
持ってください。

- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

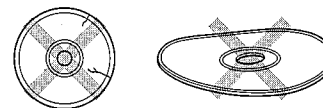
保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

異常なディスクは使用しない



再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

本機で利用できるディスクについて

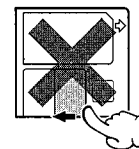
CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクラベル面にの マークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



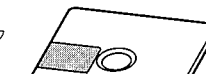
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECT)を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク
裏面



孔を開く
(録音禁止)

孔をふさぐ
(録音可能)

誤消去防止つまみ
(WRITE PROTECT)

置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

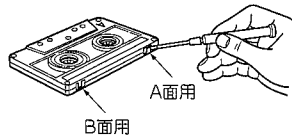
セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

- 録音禁止にすると、ドット表示部に"PROTECTED"と表示します。

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

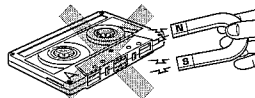
大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。
誤消去・誤録音を防げます。



再び録音するには
ツメを折った所だけにテープをはる。

カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。
また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1. 110分以上のテープについて

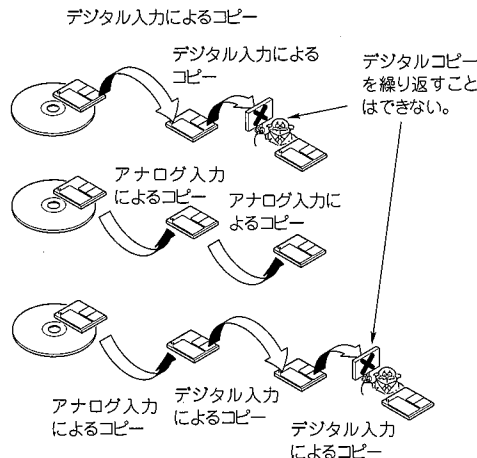
110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたリトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



TOCについて

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。
TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。
このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F
電話 (03) 5353-0336
FAX (03) 5353-0337

故障かな?と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、
(DEMO)キーを押しながら、差し込み直す。



アンプ部・スピーカー部

症 状	原 因	処 置	参照
音が出ない。	● 音量を最小にしている。 ● ヘッドホンプラグが差し込まれている。	● 適当な音量にする。 ● ヘッドホンプラグを抜く。	→ 12 → 12
ヘッドホンから音がでない。	● 差し込みが不完全。	● 正しく差し込む。	→ 12
スピーカーの片側から音が出ない。	● バランスの設定が片寄っている。	● 左右のバランスを調節する。	→ 13

チューナー部

症 状	原 因	処 置	参照
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 停電があった。 ● 電源プラグを一度抜いた。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 ● 現在時刻をもう一度合わせる。	→ 11
タイマーが作動しない。	● 現在時刻を合わせていない。停電があった。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ● タイマーの実行指定をしていない。	● "現在時刻を合わせる"をみて現在時刻を合わせる。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ● リモコンのTIMERキーで実行指定する。	→ 11 → 45 → 47
放送局が受信できない。	● アンテナを接続していない。 ● 放送バンドが合っていない。 ● 受信したい放送局の周波数に合っていない。	● アンテナを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。	→ 7 → 24
雑音が入る。	● 自動車のイグニッションノイズ。 ● 電気器具の影響によるもの。 ● テレビが近くにある。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。	
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	● プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ● もう一度プリセットする。	→ 22

リモコン部

症 状	原 因	処 置	参照
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● 再生しようとする機器に、CD、MD、またはカセットテープが入っていない。	● 新しい電池に入れ換える。 ● 操作範囲内で操作する。 ● 再生しようとする機器にCD、MD、またはカセットテープを入れる。	→ 10 → 10

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイの残り時間表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部 (その他の症状)

症 状	原 因	処 置	参照
再生キーを押しても音が出ない	● ミニディスクが入っていない。 ● 未録音ミニディスクが入っている。	● ミニディスクを入れる。 ● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。	
録音ができない	● ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ● 録音レベルが低い。(AUX使用时) ● 再生専用ミニディスクが入っている。 ● 録音可能なエリアがない。 ● 入力切換えがMDになっている。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 ● 録音できません。 ● AUXインプットレベルを調節する。 ● 録音用ミニディスクを入れる。 ● ミニディスクを入れ換える。 ● 入力切換えを録音したいソースにする。	→ 49 → 50 → 43 → 29
音がひずむ	● 録音レベルの設定をしていない。(AUX使用时) ● ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。	● AUXインプットレベルを調節する。 ● 再度録音をする。	→ 43
雑音が多い	● 外部の雑音を誘導している。	● 電気器具、テレビなどから離す。	
電源オン後、表示が一瞬消える	● 電源をオフにして、すぐにオンにした。	● 故障ではありません。	

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源コンセントからプラグを抜くとメモリーは記憶されません。停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

MDレコーダー部 (メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意 味	処 置	参照
エムディー ノー ディスク MD NO DISC	● ミニディスクが入っていない。	● ミニディスクを入れる。	
キャンコピー CAN'T COPY	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	● 録音できません。	
ディスク フル DISC FULL	● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。	● 録音用ミニディスクを入れ換える。 ● 一枚のディスクには256曲以上録音できません。	
タイトル フル TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	● "入力できる文字数について"を参照してください。	→ 35
ブランク ディスク BLANK DISC	● 何も録音されていないミニディスクです。	● 再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
ノー トラック NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	● そのまま録音して問題ありません。	
リーディング READING	● TOC*1 情報を読んでいます。	● 故障ではありません。	
ライティング WRITING	● 編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。	
ディスク エラー DISC ERROR	● UTOC*2 の内容が異常である。	● "ALL ERASE"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。	→ 41
キャン編集 CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲など、制限を超えて編集しようとしている。 ● デジタル録音したトラックと、アナログ録音したトラックをつなごうとした。	● 制限範囲内で編集する。 ● デジタル録音部とアナログ録音部はつなげません。	
? の点滅	● "編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	● ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
プロテクト PROTECTED	● ミニディスクが"録音禁止"されている。	● "録音可能"にする。	→ 49
プレイ オンリー PLAY ONLY	● 再生専用のミニディスクである。	● 録音用ミニディスクを入れる。	
ユニット エラー UNIT ERROR	● 何らかのトラブルを示します。	● 電源をいったんオフにし、再びオンにすると、通常の状態に戻ります。	

CDプレーヤー部

症 状	原 因	処 置	参照
ディスクを入れても再生できない。	● ディスクが裏返しに入っている。 ● ディスクがずれている。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズに露がついている。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● ディスクを正しく入れ直す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り換える。 ● "結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。	→ 49 → 48
音声が出ない。	● ディスクが入っていない。 ● 再生状態になっていない。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。	● ディスクを入れる。 ● 再生(▶/II)キーを押す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り換える。	→ 49
音とびがする。	● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 本機に震動が加わっている。	● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り換える。 ● 震動のない場所に設置する。	→ 49

カセットデッキ部

症 状	原 因	処 置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドが汚れている。 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● 未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ● テープを交換してみる。 ● 録音済みテープを使う。 	→ 48
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ● カセットホルダーを開めて、すぐ操作キーを押している。 ● 電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ● テープが入っていない。 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホルダーを完全に閉める。 ● ホルダーを開めてから何秒か待って操作キーを押す。 ● 4秒以上たってから操作キーを押す。 ● テープを入れる。 ● テープを交換してみる。 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	→ 20 → 20 → 20
▲ <small>プッシュ オープン</small> PUSH OPEN のマークを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音中、または再生中に押している。 ● 外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止状態で押す。 ● マイコンをリセットしてください。 	→ 51
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドが汚れている。 ● テープがのびたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ● テープを交換する。 	→ 49
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時) ● ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● AUXインプットレベルを調節する。 ● テープを交換する。 	→ 43
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドが磁気を帯びている。 ● 外部の雑音を誘導している。 ● ドルビー録音されたテープを、テープイコライザーをオフで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。 ● 電気器具、テレビなどから離す。 ● テープイコライザーをオンにする。 	→ 46 → 21
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ● キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ● テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ● テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 	→ 48 → 21
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープのツメが折れている。 ● カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ● 入力切換が、<small>テープ</small> TAPE になっている。 ● テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ● ホルダーを完全に閉める。 ● 入力切換を録音したいソースにする。 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	→ 50 → 20 → 28 → 20

本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基く許諾製品です。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

修理をご依頼になるときは

"故障かな?と思ったら"に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器 (基本システム) すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -